

平成 24 年 2 月 1 日

## 23 年度役員 19 名各位

事務局・活動局・監査委員各位

逆瀬台小学校区まちづくり委員会

「ゆずり葉コミュニティ」

会長 徳高宗雄

逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」

### 2 月度役員会開催のお知らせ（ご案内）

日時：平成 24 年 2 月 5 日（日） 10:00～12:00

場所：逆瀬台小学校内「ゆずり葉コミュニティルーム」

#### < 議 題 >

- 報告
- (1) 逆瀬台 5 丁目の道路における安全処置について
  - (2) 赤い羽根共同募金委員会からの活動資金援助について
  - (3) 23 年度活動費申請事務について
  - (4) 平成 23 年度会計精算は 3 月 12 日（月）まで  
平成 23 年度活動報告及び会計報告作成 4 月 7 日（土）まで
  - (5) 円卓会議（まちづくり協議会と自治会連合会との交流会）について  
別紙参照
  - (6) まちづくり協議会代表者会について  
別紙参照
  - (7) 第 2 地区まちづくり協議会・自治会連合会の交流会について  
別紙参照

- 議題
- 1. 平成 24 年度会長選出案
  - 2. 平成 24 年度への日程
    - ①第 1 回定時役員会開催日程 4 月 29 日（日）
    - ②平成 24 年度定時役員会議案書配布 4 月 16（月）
    - ③平成 24 年度役員・委員の選出
      - \*役員 19 名の確認 4 月 9 日（月）まで
      - \*会長以外の役員・委員の選出 4 月 11 日（水）まで
  - 3. 市役所からの「市有地運用問題」提案

以上

## 平成23年度 まちづくり円卓会議の全体概要

宝塚市では、第5次総合計画の重要なテーマである「市民の力」を生かした協働のまちづくりを実現し、地域主体のまちづくりに向けた円滑な協力体制を築くため、自治会とまちづくり協議会の意見交換の場となる（仮称）まちづくり円卓会議を3回実施しました。

主催：宝塚市（市民交流部 きずなづくり室 市民協働推進課）

対象：自治会連合会理事・まちづくり協議会代表者

---

### 開催概要

第1回 平成23年（2011年）7月1日（金）9時30分から12時

（場所）宝塚市役所 大会議室 （出席者）自治連20人・まち協18人

（主な内容）

1 基調講演「住民自治によるまちづくりを考えるー地域づくりの新たな視点ー」

講師：帝塚山大学大学院法政策研究科 教授 中川幾郎さん

◎自治会とまちづくり協議会の大切な関係

- ・自治会は「まちづくり協議会構成団体」の必要条件、しかし十分条件か・・・？
- ・自治会は地域代表性を最も担保している
- ・課題別代表性、性別・世代別代表性・地域代表性の原則を大切に

◎意識すべき「まちづくり」の順序

- ・安全・安心のまちづくり（防犯・防災）
- ・人に優しいまちづくり（ユニバーサル・デザイン）
- ・活力あるまちづくり（コミュニケーション、経済、産業）
- ・学び、美しさ、モラルの高いまちづくり（生涯学習、美観、倫理性）
- ・どこにもない、個性的なまちづくり（アイデンティティ、オンリーワン）

2 意見交換

自治会連合会とまちづくり協議会とがひとつの円卓で、特にテーマ設定なく自由に意見交換を行なった。

自治会とまちづくり協議会の現状課題を意見交換し、市民主体のまちづくりへの目的が同じ方向性であることを共有できた。

---

第2回 平成23年（2011年）8月31日（水）18時30分から20時45分

（場 所）宝塚市役所 大会議室・3-3会議室・研修室

（出席者）自治連24人・まち協18人

（主な内容）

1 各地区別のグループ協議による意見交換（ワークショップ形式）

コーディネーター：帝塚山大学大学院法政策研究科 教授 中川幾郎さん

◎地域の特性や課題などをふりかえり情報を共有

各地区での人口、地理的条件、道路・交通状況、校区規模、生活環境などの地域の特性や課題を共有。

◎自治会とまちづくり協議会の連携方策

- ・自治会とまちづくり協議会の活動内容や課題を共有
- ・市民自治組織のあり方
- ・行政と地域の関係性、行政の方針・役割への不満
- ・自治会とまちづくり協議会の協力関係の地域差
- ・自治会とまちづくり協議会との話し合いが必要
- ・自治会とまちづくり協議会との関係性は良好
- ・広域な共通課題（地域交通など）の共有と協力の必要性
- ・自治会連合会とコミュニティとの連携・協力

## 2 各グループ協議の報告

～全体に共通する主な課題～

- ・人材不足、人材発掘、人材育成
- ・自治会とまちづくり協議会の考え、動きがわからない
- ・地域によって活動や協力関係に差がある
- ・自治会とまちづくり協議会の活動内容や役割の整理
- ・自治会とまちづくり協議会の協力・連携の必要性
- ・行政の方針や方向性がわからない など

---

第3回 平成23年（2011年）12月26日（月）9時30分から12時

（場 所）宝塚市役所 大会議室

（出席者）自治連 25人・まち協 20人

（主な内容）

### 1 宝塚市のコミュニティ施策の考え方（行政説明）

「コミュニティの創造と発展」2ページ、「まちづくり協議会」形成と「自治会」の充実が宝塚市の基本的考え方（コミュニティ行政の基本的考え方）を共有。

～組織づくりは自治会を中核、市民の横断的連帯をめざすものである～

### 2 各地区別のグループ協議による意見交換（ワークショップ形式）

◎自治会連合会とまちづくり協議会の連携について（成功例・失敗例）

- ・人としての絆をつくる親睦交流事業
- ・地区内での自治会連合会とまちづくり協議会の協議の場で互いを理解
- ・地区内のまちづくり協議会の情報交換

- ・まちづくり協議会が自治会の加入促進に積極的な協力
- ・地区自治会連合会の活性化
- ・自治会の区域を越えた広域活動で、地域住民が多く参加する事業
- ・自治会とまちづくり協議会の協働作業（まち協広報紙の配布）
- ・避難所運営マニュアルの作成（自治会・まち協・民生・社会福祉協議会）
- ・自治会からまちづくり協議会への協力金

◎連携を深めるために必要なことは？

- ・共通認識、情報共有
- ・自治会を核とする横断的な市民自治組織
- ・まちづくり協議会の規約に自治会を明記
- ・地区自治会連合会とまちづくり協議会の連携
- ・知恵を出し合い、地域を発展させる仕組みづくり
- ・役員経験者の有効活用
- ・NPO、コミュニティ・ビジネスによる自主財源の確保
- ・自治会とまちづくり協議会は2輪車ではうまくいかない
- ・自治会とまちづくり協議会は2輪車であるべき

2 各グループ協議の報告

～自治会（連合会）とまちづくり協議会の連携（共通事項）～

- ・自治会が中核
- ・情報共有、共通認識の場の設定
- ・自治会の協力
- ・今後の行政の取組み方針

3 市長あいさつ

地域の絆、人と人との助け合いに対し、行政もできるだけのことをしたい。  
円卓会議を今後とも発展的に続けたい。

4 市への要望

- ・市民から誇りに思われる行政であって欲しい
- ・自治会とまちづくり協議会が情報を共有する場に対する行政の財源的な支援

1. 第7回ハーフマラソン大会ご協力のお礼  
申し込み数 4,981名 参加者 4,327名  
完走率 99.2%  
スタッフ用の帽子を用意しましたが、まだ700個余っています。1個1,000円ですが、544円は震災復興資金としてあります。買ってもらえませんか。(スポーツ振興課まで)
2. 地域コミュニティ紙での自転車安全運転記事を掲載してほしい。
3. 円卓会議について  
地域によりまち協への理解に温度差がある。  
今後の発展にむけ、地区毎の円卓会議を継続していく。  
互いの信頼関係を進展させたい。  
行政には各地区の担当者を決めている。第2地区は神崎氏。
4. 協働の指針策定ワークショップの報告  
「協働」をテーマに  
1回目 実用性とイメージについて  
2回目 成功例と失敗例について  
3回目 協働のしくみ  
を話し合った。
5. コミュニティビジネスについて  
メリット：福祉の進展、助成金の受領、介護の進展、雇用が図れた等。  
予想外の事故への対処のため法人化を考えている。
6. 宝塚警察署警備課 谷口警部補は色々な相談に応じてくださる。

平成24年1月27日

宝塚市第二地区自治会連合会理事各位

宝塚市第二ブロックまちづくり協議会会長各位

<第三回自治会連合会・まち協円卓会議議事録>

日時：平成24年1月27日（土） 13:30～15:40

場所：中央公民館

出席者：中村（逆瀬台「J」目自治会会長） 徳高（ゆずり葉まちづくり協議会会長）  
川野（千種ヶ丘自治会会長） 富樫（一小まちづくり協議会会長）  
松川（逆瀬川自治会会長） 豊田（末広まちづくり協議会会長）  
森山（西逆瀬川自治会会長） 清水（西山まちづくり協議会会長）

議題：

- 平成23年度自治会連合会・まち協のまちづくり円卓会議の総括について  
1月25日勤労者市民センターにて自治会側より尾崎会長、中原会長、村野会長  
まち協より吉田会長（山本山手コミュニティ）、清水（西山コミュニティ）、行政  
を交えて話し合いが行われ、長年実現出来なかった両者の話し合う場が持てた事  
は大いに評価すべきことで、出席者一同満足であったとの発言でした。  
今後は宝塚市七地区毎に、自治会連合会・まち協の円卓会議を発展的、拡大的に  
継続する。行政側として、各地区に専任担当者を指名、再度周知徹底させ住民と  
行政との架け橋となり、今後は自治会連合会の会合、まち協の会合に積極的に出  
席して、住民のニーズ、問題点、課題を持ちかえり、庁内で話し合い、回答が必  
要ならば即時フィードバックして、第5次総計に掲げられている市民自治を確立  
し「新しい公共」に向けて市民中心のまちづくり活動を推進する。
- 第二地区自治連・まち協まちづくり円卓会議の目的について  
これからの円卓会議は自治連とまち協が中核になり、行政より地区専任担当者は  
必ず出席し、地区内で活動している諸団体の代表者にも参加を呼び掛けて「情報  
交換」の場として相互の情報共有を図り、各団体代表者は情報の伝達を速やかに、  
地区のまちづくり活動に努める。  
因みに第二地区の専任担当者は市民協働推進課に所属の神崎氏。
- 第二地区自治連・まち協円卓会議開催のスケジュールについて  
今年度は終了し、平成24年度より年間3回程度開催をする。

西山まちづくり協議会

清水 光雄